

主要科目の目標、特長

(保健医療技術学部 作業療法学科)

授業科目の名称	目 標	特 長
作業療法概論Ⅰ	<p>一般目標(GIO) 作業療法の概要を学び、作業療法士としてのアイデンティティの基盤を構築する。</p> <p>行動目標(SBO) 1. 作業療法の概要を理解できる 2. 作業療法士の倫理について理解できる 3. 障害体験を通して、障害者の生活について理解できる 4. 作業療法の対象領域(身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害、地域)について概要を述べるができる 5. 作業療法を学ぶために必要な基本的なスキルについて学び、実行することができる</p>	<p>作業療法の視点、および専門的知識や技術の概要を学び、保健医療の一員である作業療法士としてのアイデンティティの基盤を構築することを目的とする。さらに、作業療法の治療的基礎となる治療理論、作業療法の実際と管理・運営等について修得する。</p> <p>①作業療法の定義、歴史、目的、対象、範囲 ②作業療法のプロセス ③障害のとらえ方 ④理学療法士法・作業療法士法 ⑤作業療法実践の具体例を学ぶ。</p>
作業科学	<p>一般目標(GIO) 作業療法の基礎学問である作業科学について学ぶ。人と作業の関係、作業の意味、形態、機能について学び、人について作業的視点を持って理解することを養う。</p> <p>行動目標(SBO) 1. 作業療法士が活用する作業について理解する 2. 作業の分類について理解する 3. 作業の形態・機能・意味について知る 4. 作業と場所の関係について知る 5. 役割について知る 6. 日常的に作業はどのように行われているか知る 7. 作業を理解するためのインタビューを経験する</p>	<p>人と作業の関係、作業の意味、形態、機能について学び、人を作業的視点を持って理解することを養う。作業療法を実践する上での基本的な知識、視点、姿勢を養う。具体的には作業と健康、作業バランス、作業ルーティンなど、作業の視点を学び自分自身が他者を理解する手立てとする。さらに作業の概念を持ち作業療法士のアイデンティティ形成を目的とする。</p>
神経障害作業療法評価学	<p>一般目標(GIO) 認知機能評価の概要が理解できる</p> <p>行動目標(SBO) 1. 脳血管障害における要因を理解できる 2. 脳血管障害の諸問題を理解できる 3. 脳血管障害の運動機能の評価ができる 4. 脳血管障害児における生活機能の評価ができる 5. 脳血管障害における認知機能の評価ができる 6. 代表的な認知機能評価の原理が理解できる 7. 代表的な認知機能評価のための検査を実施できる 8. 代表的な認知機能評価結果の解釈ができる 9. 対象者の全体像把握のために評価結果の整理ができる</p>	<p>中枢神経機能障害の症状、特徴を把握し、その評価方法である中枢運動機能評価を理解・修得する。また、意識、注意、認知、言語、記憶、思考、行為、遂行機能という高次脳機能の構造的理解と各機能と特徴、局在との関連を理解する。さらに、面接、観察、神経心理学的検査法の特性と施行法について概説する。</p>
老年期作業療法評価学	<p>一般目標(GIO) 高齢者の生理的・身体的特徴について理解し、老年期障害に対する情報収集および評価を修得する。</p> <p>行動目標(SBO) 1. 老年期障害とは何か、理解することができる 2. 老年期障害の特徴を理解し評価を選択、実施することができる 3. 高齢者の基本動作、移乗、移動動作の評価を行うことができる 4. 高齢者のADLの評価を行うことができる 5. ケーススタディによりICFの心身機能構造障害と活動制限の関係を示すことができる</p>	<p>老年期の生理・身体・心理・精神・社会的機能の特徴を理解し、それらの諸特性に合わせた作業療法評価について修得する。講義内容は、老年期作業療法の考え方、目的、基本的枠組みについて概説し、対象となる人の特徴として老年期の諸問題と課題、起こりやすい疾患、障害について学ぶ。またそれらに対応し老年期障害に対する運動、認知、家族、環境の評価方法を学ぶ。</p>
就労援助学演習	<p>一般目標(GIO) 職業リハビリテーションに関連する法・制度および最新の情報等により、知識を深め広い視野を持つ。さらに、障害をもつ人の就労支援に関連する基礎知識と技法を修得する。就労援助に関する作業療法の評価、支援方法を修得する。</p> <p>行動目標(SBO) 1. 職業リハビリテーションの概念を説明できる 2. 職業リハビリテーションに関連する機関・職種および作業療法の役割を説明できる 3. 就労支援関連法規と制度を説明できる 4. 就労支援で用いる評価法を列挙できる 5. 障害特性と職業的課題を説明できる</p>	<p>職業リハビリテーションに関連する法・制度を学び、障害をもつ人の就労支援に関連する基礎知識と技法を修得する。就労援助に関して、作業療法の評価、支援だけではなく、医療・福祉の両者の視点を養うことを目的とする。具体的には、職業リハビリテーションの概念および作業療法の役割、就労支援関連法規と制度、就労支援で用いる評価法を修得する。</p>